

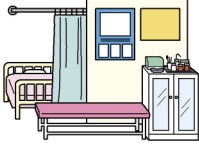


●母の言葉ありがとう

数十年前、子宮筋腫の手術で出血多量となり、大勢の人から輸血をしていただき命拾いをしました。いろんな人から輸血をすると血液の病気になるかと聞かされ、心配で母親に電話をしました。母は、「どんな人の話も私を心配して下さっていると素直に聞けると拒否反応なんかしないよ。大勢の方の血液があなたの血肉になり活力になる。感謝だよ。」と励ましてくれました。お陰で今は元気で過ごしています。

先日、友達が輸血をしないと生きられない病気になる、不安や心配な気持ちを持ち、メールでくれました。私は数十年前の母の言葉を伝えました。すると不安や心配な気持ちがなくなり、心が落ち着いたと喜んでいただきました。今は亡き母の言葉が困った私をいつも助けてくれます。お母さん、ありがとう。

(田無市/M・I)



●多摩川よ、ありがとう

ばかばか陽気に誘われて、多摩川の散策に出かけました。家を出て十分も歩けば川まで行けるのですが寒い間は足が遠のいていたので本当に久しぶりでした。多摩堤通りの土手に上がると、眼下には春の日をいっぱい浴びて、キラキラと輝く多摩川が横たわり、緩やかに流れています。川は、そのビルの間を蛇行しながら、目の前を過ぎて丸子方面に流れいきます。土手を下りて河原へ出ると、堤防沿いの桜はすでに散った後で、枝からは若い葉が芽吹いていました。桜は散りましたがまだ野辺一面は花ざかりです。足元には薄紫の花をつけたオオイヌフグリが、桜の下には黄金色のセイヨウアブラナや淡い紅色のハマダイコンが咲き乱れています。目黒に住んでいた子供の頃から、夏休みになると腕白仲間と連れ立って来ては、この川で釣りや水遊びに興じたりと長い付き合いになります。過去を振り返ると、汚染された川の水が臭かったり氾濫さわぎを起したりと、問題をかかえた時もありましたが、昨今では何事もなく、河川敷で野球やテニス、サイクリング、散歩などをする多くの人を喜ばせています。数人の子供たちが歓声を上げながら走り、背の高い枯れた葦原に消えていきました。多摩川よ、春を堪能させてくれてありがとう。

(世田谷区/H・A)

●ゆずってあげた息子にありがとう

小学校の卒業文集で息子が「僕は何事もゆずれない人間だと思った。」と書いていたので、私は「ゆずってみることも大事よね。」と息子に話しました。中学校に入学するとクラスで係りを決めることになりました。すると6人と4人で別れてしまい、誰か1人4人組に移らなくてはなりません。その時、息子は私との会話を思い出して「僕がそっちに行ってもいいよ。」と言うと友達は「本当にいいのかわ？」と心配してくれたそうです。ゆずることのみならず、より仲良くなれたと、学校から帰ってきた息子は笑顔で話してくれました。ゆずることのできた息子をいっっぱい褒めてあげました。ありがとう。

(千葉市/K・T)

●一年生になった娘にありがとう

ありがとう

兄がランドセルを背負って学校に出かけるようになると、四つ下の妹は早くお兄ちゃんのように学校に行きたいと、読書、鉄棒、縄跳びと何でも真似をして頑張っていました。そして、待ちに待った四月に一年生に入学し、憧れのランドセルを背負って、はりきってお兄ちゃんと小学校へ通い始めました。ところが、担任の先生からお電話をいただき、給食が食べれないと毎日泣いているとのこと。あんなに楽



●大自然にありがとう

今年は四月初めにツバメが電線に2羽止まっていました。雪が降って寒い春咲きだったのにツバメは、初夏を忘れずに姿を見せてくれました。ピーピー、ルルルルルと鳴きながら、矢のように飛び立ちました。嬉しそうに舞うように飛んで行きました。私たちの世界では携帯電話が次の電子機器に変わり、パソコンなどなかなか覚えられませんが、ツバメや桜の花や菜の花を眺めていると、昔から変わりなく季節を間違えず感じながら生きる大自然に見入っています。痛む足をなでながら、ゆっくり散歩できることに嬉しく思っています。毎日変わる風や空、休耕田に植えられた限りの芝桜、周りをゆっくりに見渡すと、この1ヶ月にお花も随分変わってきました。楽しみながらゆっくりに散歩と続けたいと思っています。大自然にありがとう。

(さいたま市/E・M)



●お給料をありがとう

産休が明け、一年半ぶりに職場に復帰しました。お休み中は少し心が落ち着いていましたが、6時に起き、7時に子供を保育園に預け、夕方6時に迎えに行く。そんな忙しい日々が始まると、イライラしてしまい、子供を叱りつけていました。また元に戻ったのかとがっかりしていましたが、職場で仕事、子育ての悩みを相談されるようになりと、お陰さまで前の私よりも少しは向上したように思え嬉しくなりました。産休後は四月十日からの出勤でしたが、二十五日の給料日には一ヶ月分のお給料が振り込まれていました。驚いて事務所に確認すると、会社の経営が変わり間違いではないことを知り、生活費に困っていたので大変助かりました。思わぬプレゼントをありがとう。(町田市/M・H)

●ご近所づれをありがとう

リハビリに週一回通っています。そこには8台のマシンがあります。腕を上下に動かす運動や、自転車こぎ、股関節を広げる運動、膝の屈伸など、自分のやりたい好きな運動をします。4月の初め、近くの目黒川の桜は真つ盛りで道行く人たちは携帯カメラやガイドブックを片手に桜見物をしていました。そんな折、その室長さんが目黒区の桜の名所へドライブに連れて行ってくれました。サレジオ通り、都立大の桜並木、香

川は今暗渠になっていますが、見事な桜です。禿坂は両側に桜のトンネルで、いつまでも車に乗ってみたい気分です。そこを抜け出すと目黒川に出てきます。ほんぼりがきれいに並び、桜の花を引き立てています。時折吹く風に花びらが舞っています。きれいなきれいな桜吹雪です。花いかなも見えます。足腰が痛いとなかなかお花見に行くことはできません。室長さんは「桜は一年に一回ですから。」と言って、私たちを連れ出してくれました。安全運転で最高のお花見ができました。今年が良いことがありそうです。

リハビリのスタッフの方々、室長さんに大きな声でありがとうと言いたいです。(目黒区/H・O)

●賞状をありがとう

二月に二十五年務めていた会社を退職し、ゆっくりとした時間を過ごしながらも、すこし人恋しくなり始めた頃、転勤され年賀状だけのお付き合いになっていた知人からお手紙をいただきました。それは「退職されたことを風の便りで知りました。長い間お疲れ様でした。」と書かれた心の行き届いたお手紙で、いっしょに大きく真赤に熟した美味い苺も送っていただきました。私のことを覚えていてくださったと思うと、嬉しくて知人の優しさがありがたく、心にしみました。ありがとうございました。(横浜市/S・N)

●お父さん、ありがとう

家内工業で経営が行き詰まり、仕事をやめ、家を手放し、主人は四十五年ぶりに外に働きに出ました。仕事はデイケアの送迎で、仕事中は雑用も多く、器用な主人はいろいろなことを任せてもらい、八時間働いてきてくれます。家に帰ると疲れ果て体のあちこちが痛むので、そのつど私はマッサージをしてねがいます。主人は六十七歳になった今でも嫌な顔一つ見せずがんばり、毎月お給料を持って来てくれます。お父さん、ありがとう。(天田区/J・Y)

●ミニフラワーポッドを

四月十二日、ホロニックス総研主催の「終活応援セミナー」は嬉しいことに当日参加の方が多く、お配りする予定だったミニフラワーポッドが足りなくなってしまうました。急遽、会社に戻り不足分を作り始めたのですが、これがなかなか面白い。花の色や大きさ、草とのバランスなどを考えながら保存液の入ったミニポッドに生けていく。まるで自分の作品を作っているようで、夢中になって作っていました。これは誰にでも簡単に作れて楽しめますね。作り方を教えてくれた榮和プランニングのみなさん、ありがとうございました。(株)ホロニックス総研/追川友宏



【携帯 Deショット】そろそろ5月の連休だ。晩春の風が吹く青空を悠々と泳ぐ鯉のぼりもクルクル回る矢車を観ることが出来ない東京の町。でも毎年のように矢車草は季節を教えてくれる。【花言葉】繊細、優雅、信頼、独身生活



●携帯電話の方はQRコードから →→→
●パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
●メールでのご投稿は…
info@holonics.gr.jp
【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部



【原稿をお待ちしています。】
本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せいただいた「ありがとう」のこぼれに、因んだ思ひ出を、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただく方には、ささやかなご褒美をご用意しております。オリジナル「ありがとう」マガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されては、いかがでしょうか。編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。

